

| | | | | | |
|------------------------------|---|------|---|-------------------------|-------|
| 開講期 | 2026年度前期 | | | 単位数 | 2.0単位 |
| 科目[授業]名 | 6110 東洋美術史 | | | 開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ) | 週間授業 |
| 種別 | なし | | | 定員 | |
| 履修可能学年 | 全学年履修可 | 重複履修 | × | 全学開講 | ○ |
| 曜日時限 | 水曜2限 | | | | |
| 教室 | H206教室 | | | | |
| 代表教員 | 君島 彩子 | | | | |
| 担当教員 | 君島 彩子 | | | | |
| テーマと到達目標 | 本講義は仏教を除くアジア諸宗教が生み出した造形文化の特質を、神話や思想との関係から総合的に説明することを目的とする。受講者は、各宗教の基本概念と図像の関係を理解し、宗教思想が造形の形態や色彩に与えた影響を分析する力を養う。さらに、仏教との比較や近代以降の変容も踏まえ、アジア美術の共通性と多様性を客観的に捉え、伝統的信仰と造形の継承について考察する視座の獲得を目指す。 | | | | |
| 概要 | アジアにおける仏教以外の諸宗教が育んだ造形文化の特質を網羅的に解説する。前半はインドのヴェーダ時代からヒンドゥー教美術の成立と東南アジアへの伝播を扱い、中盤ではイスラーム美術の抽象性と東アジアの儒教・道教的な宇宙観、日本の神道独自の造形観を扱う。さらに彫刻や絵画のみならず、芸能における聖性の表現まで視野を広げる。また近代以降の西洋美術概念の流入がアジアに与えた影響も解説する。受講者は各宗教の図像や基本概念を理解し、信仰におけるイメージが現代へいかに継承・変容されているか理解することを目指す。なお、「仏教」については、別講義「信仰と文化」において詳しく扱う。 | | | | |
| 対面科目/オンライン科目 | 対面科目 | | | | |
| 授業計画 | | | | 担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載) | 授業方式 |
| 第1回 | 東洋美術史とは何か | | | | 対面授業 |
| 第2回 | 古代宗教の原像 | | | | 対面授業 |
| 第3回 | 神話と造形の展開 | | | | 対面授業 |
| 第4回 | 宇宙秩序の神々 | | | | 対面授業 |
| 第5回 | 破壊と再生の神 | | | | 対面授業 |
| 第6回 | 維持する神の化身 | | | | 対面授業 |
| 第7回 | インド神話の受容と変容 | | | | 対面授業 |
| 第8回 | シンボルとしての神 | | | | 対面授業 |
| 第9回 | 不可視の神をめぐる造形 | | | | 対面授業 |
| 第10回 | 自然と神霊の信仰 | | | | 対面授業 |
| 第11回 | 神仙と祖先祭祀の世界 | | | | 対面授業 |
| 第12回 | 神道の造形 | | | | 対面授業 |
| 第13回 | 祈りと身体表現 | | | | 対面授業 |
| 第14回 | 近代との遭遇 | | | | 対面授業 |
| 第15回 | 越境する信仰 | | | | 対面授業 |
| 成績評価の基準 | 授業中におこなうテスト及び提出課題、授業態度から総合的に評価。 | | | | |
| 履修にあたっての留意事項 | 本授業では多くのスライドを使用します。講義中は画面の図解やイメージを確認しながら、「話を聞くこと」に集中してください。スライド内の文字情報は授業後に共有します。授業中にすべてを書き写そうとせず、復習の際に改めて内容を確認することを推奨します。 | | | | |
| オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細 | | | | | |
| 【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件 | | | | | |

◆教科書・教材

| | | | |
|---------------|----------------|------------|--|
| 教科書以外に必要な教材費用 | 授業中に適宜指示または配布。 | | |
| 教科書 | | 教科書(ISBN) | |
| 参考文献 | | 参考文献(ISBN) | |

◆合理的配慮

| | |
|--------------------|--|
| 本学における修学支援基本方針について | 本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること |
|--------------------|--|